



ICT林業(林業における ビッグデータの活用)の推進

～単木解析データを活用した森林資源管理サービスを本格稼働～

ASIA AIR SURVEY CO.,LTD.

2014年6月10日
アジア航測株式会社

アジア航測株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:小川紀一郎、以下、「当社」)は、森林、林業におけるICT導入を図る、単木解析データを活用した森林資源管理サービスを全国に展開します。

当社は、自社の強みである計測技術をベースに、いままでICTの導入が遅れていた森林経営・管理の近代化(ICT林業)を推進するサービスを展開します。

具体的には、調査段階において、航空レーザ計測による高精度・高分解能の森林資源及び地形・地理情報を提供します。

当社は、これまで取得困難であった森林全ての樹木の情報をレーザデータ解析から取得し、樹木1本毎の位置・樹種・樹高・胸高直径・材積データを把握する特許技術を保有しています。これらの情報により、大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設などへの径級別の原木安定供給計画が可能となります。こうした需要と供給を結ぶ情報は、林業におけるビッグデータ活用の先駆けとなるものです。さらに、各種データは森林GISを活用し、木材流通情報管理だけでなく、森林経営計画、路網計画等に、また間伐作業等の実施管理といった資源管理に広く有効活用することができます。

このように、調査・分析・計画・運用・評価のサイクルのすべての段階でデータの高度利用が可能になり、森林管理業務の大幅なコストダウンが実現できます。将来的には、森林クラウドにより、これら各種データを管理・活用するサービスを提供する予定です。

日本創成会議が全国約半数に当たる896自治体が2040年に消滅の恐れがあると発表しましたが、これら地域は広大な森林を抱えています。森林管理の担い手不足が叫ばれる中で、効率的な森林管理を実現するICT林業を推進し、地域経済を活性化することは喫緊の課題です。こうしたことを踏まえ、当社は、国や地方自治体だけでなく、森林を所有する民間企業も視野に入れ、営業展開して参ります。

□関連特許:

- ・特許第4279894号「樹木頂点認識方法及び樹木頂点認識装置並びに樹木頂点認識のプログラム」
(東京電力株式会社・アジア航測株式会社)
- ・特願2011-193949「植生図作成装置及び植生図作成プログラム」(アジア航測株式会社 出願中)

(お問合せ先)

 **アジア航測株式会社**

<http://www.ajiko.co.jp>

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2

経営管理本部 企画部(広報)

TEL:044-969-7290 FAX:044-965-2596

E-mail:info@ajiko.co.jp